

生麦中だより

令和4年度(2022) 2月【9号】

「互いを認め合い幸せをつくる」

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/namamug>

「助けてもらう力」～前向きに行動するために～

校長 山口 毅

春が近づいておりますが、まだ寒い日が続いております。学校では、引き続き感染症関連の対策を取りながら、進路指導・冬テスト・各学年行事等を行っています。

さて、海外で暮らす日本人の合計は約 130 万 9 千人(長期滞在者と永住者)であると、最近の報道でありました。海外永住者は、過去最高で約 55 万 7 千人になったそうです。コロナ禍で長期滞在者の人数は 5 万 6 千減少しているとのことですが、海外で暮らす人の多さに少し驚きました。

そのような報道の中で、アメリカ、ニューヨークで生活している方の話を聞く機会がありました。夢を持ち、目標を成し遂げたいという思いから海外での活動・生活を目指したそうです。海外での生活は、自分の思ったものとは全く異なり、厳しく・貧しいものだったと話していました。

25 年が経ち、今では安定した活動・生活を送ることができ、この 25 年で何が大切だったのかも振り返ることができたと言っています。当時、才能(能力)もなく努力もできなかった自分、何の成果も出すことができない自分に、まわりの人たちが声をかけてくれたそうです。

「ここに連絡しろ、いつまでにメールしろ…」など、ライバルともいえる人たちが自分を助けてくれる。自分が仕事の機会を得れば、助けてくれた人の仕事の機会を奪うことになることもあったそうですが、それでも助けてくれた。

「なぜか?」、自分を助けてくれた彼らもまた、誰かに助けられて、今ここにいるということが分かったといいます。自分がされたことを外国人である自分にしてくれた、というのです。

アメリカ・ニューヨークという、「奪われたら奪い返せ」とか「やられたらやり返す」というイメージですが、「助けたら助け返す」という「助け・助けられ」のメカニズムが強烈に働く街で、仕事以外の実生活にもこれが及んでいると実感するそうです。

助けは、こうやって脈々と流れているのだと感じながら、みんな助け・助けられる。人の才能・努力には限界があって、「自分はしょうがない人間だな。」と時々思うのは、自分事だからだそうです。「助け」には相手がい、「助け」は社会そのものだと思う、とご本人は述べています。

「助け」の流れこそ社会の流れ、「助け」は助けられた相手がうれしいばかりでなく、助けた本人も「自分も社会で役に立つ存在なのだ。」という社会の醍醐味を実感できる貴重な機会と言っています。また、人は本来助けたいという、そういう生き物なのだとも言っていました。

でも、実際は全員が助けられていない、全員が助けていない。実は助け・助けられのメカニズムにはひとつの例外があるというのです。この例外に出会うと、あんなに助けたいと思っていた人たちが急に助けを拒否してしまうそうです。

それは、「助けを期待している」と分かった時だそうです。本当に不思議なことですが、この助けを期待している心はすぐにバレて、見透かされてしまうそうです。ご本人は、他人を当てにして期待する心、結果だけ期待するいやらしい心にあふれかえていた自分の時期があったそうです。

その時は、その後全ての期待に裏切られ、何も残らない大きな挫折感・失望感・敗北感に出合ったそうです。癒すことができたのは、活動・生活に無心・無欲で取り組んだ時に、助けがやってきたそうで、挫折感・失望感・敗北感の中から必死に脱出しようとしている者を、人はほっとかないのかもしれないと言っていました。ご本人は、自分が期待することをやめた時、周りが自分を応援してくれたと思っていると振り返っています。

最後に「自分に仕事の厳しさを教えてくれた街がニューヨークであり、期待していると裏切られる。期待は、裏切るためにあるのかもしれない。」と言っていたのが印象的でした。

中学校で「学ぶ」方向は一緒でも、「進む」方向は、異なります。自分の進む方向を見つめてみましょう。

2年 職場体験学習

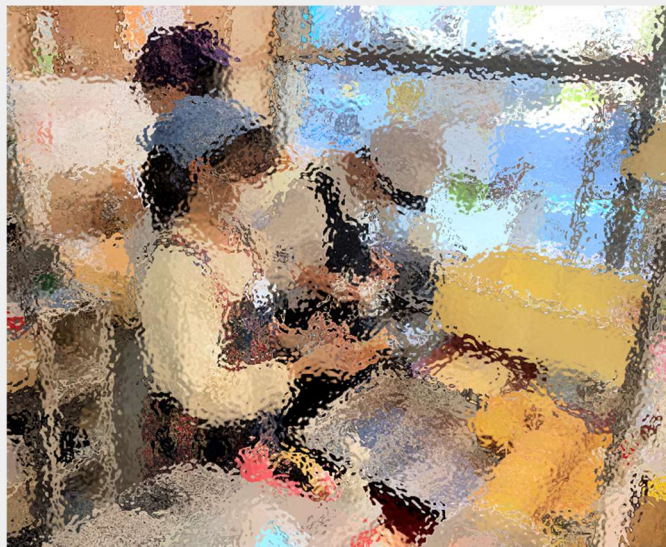
1月24日(火)・25日(水) 2年生が職場体験学習を行いました。



人は、他者や社会とのかかわりの中で、職業人、家庭人、地域社会の一員等、様々な役割を担いながら生きています。

これらの役割は、生涯という時間的な流れの中で変化しつつ積み重なり、つながっていくものです。また、このような役割の中には、所属する集団や組織から与えられたものや日常生活の中で特に意識せず習慣的に行っているものもあります。

人は、これらを含めた様々な役割の関係や価値を自ら判断し、取捨選択や創造を重ねながら取り組んでいます。



人は、このような自分の役割を果たして活動すること、つまり「働くこと」を通して、人や社会にかかわることになり、そのかわり方の違いが「自分らしい生き方」となっていくものだと思います。



人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見だしていく積み重ねが、今回の職場体験学習のねらいでもあります。

職場体験学習を通して、皆さんが直接働く人と接することにより、また、実際的な知識や技術・技能に触れることを通して、学ぶことの意義や働くことの意義を理解し、生きることの尊さを実感できたことを期待します。



◆体験職場◆ (ご協力に感謝いたします。)

東部総合職業技術校 ➡

精密加工エンジニア・機械 CAD・溶接・板金・電気
コンピュータ組み開発・自動車整備・建築設計・造園・ビル設備管理・給食調理・ケアワーカー

・岸谷小学校・生麦小学校・寺尾小学校

・岸谷郵便局・岸谷消防署

・鶴見図書館・OK新子安店

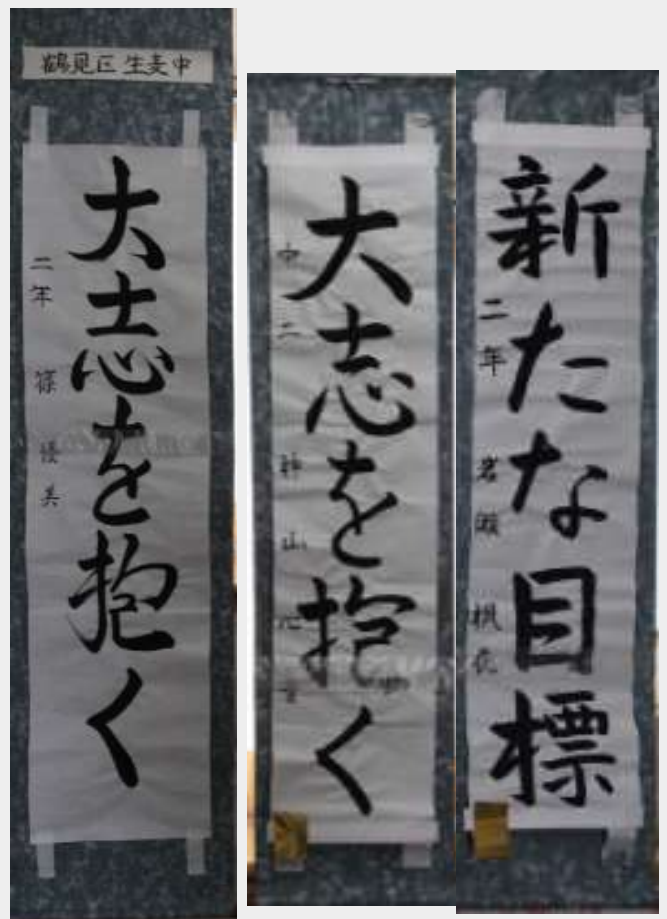
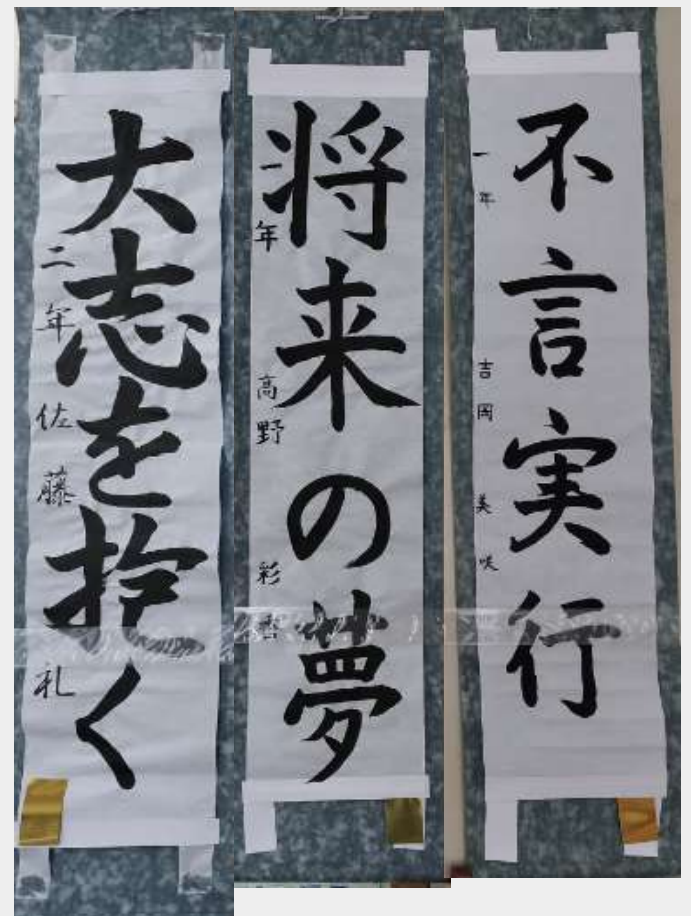
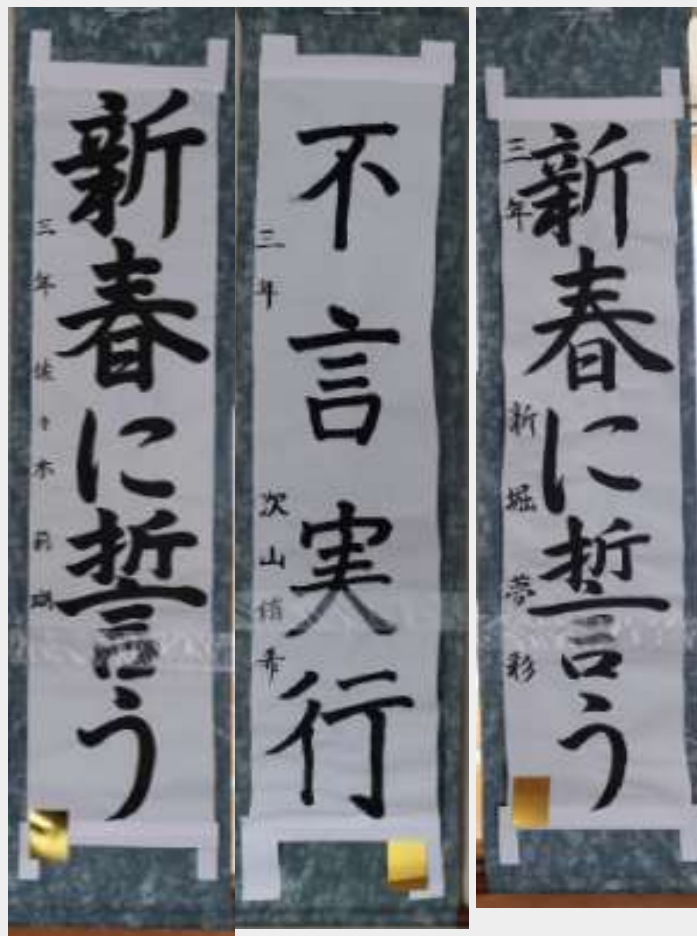
・京急ストア 鶴見西店・ベルエポック

書初め紹介

生麦中学校では、以下を目的として、校内書初め展を実施しています。

- 古典に親しむ態度を育て、日本の文化や伝統について関心を深める。
- 新年を迎え新たな決意を表現する。

各学年の金賞作品をご紹介します。



8 組合同学芸会発表

1月26日(木)磯子公会堂に於いて、3年ぶりに横浜市立学校総合文化祭 横浜市立学校・義務教育学校 個別支援学級 合同学芸会 鶴見区合同学芸会が開催されました。

保護者の皆さまにも、感染対策衛生管理を施したうえで参観していただきました。ご参加いただいた保護者の皆様ありがとうございました。

横浜市立学校総合文化祭
第65回 横浜市立中学校・義務教育学校 個別支援学級
合同学芸会プログラム



スローガン
「照らせスポット! みんなが主役! みんなに拍手!」

【観覧席】 (Gブロック) 1月26日(木)

開始式 (9:40~9:45)

(観覧席のこぼれ) (観覧席) (保護者の先生のお席) (3年ぶり席) (観覧席)

| 学校名 | 演目内容 | 種別 | 開始 | 終了 |
|-------|---------|--------------|-------|-------|
| 1 寺尾 | 太鼓と踊り | 寺尾よっちょれ | 9:50 | 9:40 |
| 2 市橋 | ダンス・音楽 | ダンス・音楽 | 10:00 | 9:50 |
| 3 寛政 | ダンス・音楽 | ハンドベルの演奏とダンス | 10:10 | 10:00 |
| 4 上の宮 | 劇芸 | 上中談! | 10:20 | 10:10 |
| 5 瀬田 | ダンス | ダンスメドレー | 10:30 | 10:20 |
| 6 矢野 | ダンス・音楽 | 笑っばのフレディ | 10:40 | 10:30 |
| 7 末吉 | 劇芸とエッセイ | 末吉伝統披露 | 10:50 | 10:40 |
| 8 鶴見 | ハンドベル演奏 | 「見上げてこらえんぞ」 | 11:00 | 10:50 |
| 9 主要 | 演目 | ダブルダッチ&ダンス | 11:10 | 11:00 |

演目内容は、演目 ダブルダッチ&ダンス を行いました。

本校演目のダブルダッチは、ロープ回し手が左右半周ずらしてロープを回し、ジャンパーがいろいろな技を交えて跳ぶというスポーツです。

手軽にできる反面、集中力、持久力、リズム感、創造力、バランスが必要です。8組の生徒の皆さんは、粘り強く練習し、ダブルダッチで高度な演技を見せてくれました。

今回は、学校での演技を映像に納めました。音楽をバックにスローモーションやアングルを変化させて、その様子をカメラで撮り、映像化してホール全体に放映しました。

その映像からは、スピード感にあふれ、躍動する8組の皆さんの姿が爽やかに伝わってきました。

グループを分けたダンス演技では、一人ひとりの動きが全体の踊り、ダンスへとスムーズに構成され、皆さんが主役となる素晴らしい演技でした。

ダンスフィニッシュには、“やればできる”応援してくれてありがとう“前向きに”“がんばります”などの自分の言葉を披露しました。

緊張した様子もありましたが、保護者の皆さまからの応援をいただき、温かく和やかな雰囲気の中で発表することができました。

8組の皆さん、素晴らしい演技をありがとうございました。

皆さんがとても輝いていたのが印象的でした。

1年 百人一首

1月27日(金) 1学年百人一首大会を体育館にて開催しました。

本校では、

- ①優れた和歌にふれることにより、日本の言葉の美を感じる。
- ②伝統的な競技のおもしろさを味わい、生活を豊かにする。
- ③学級で意欲的に取り組むことで、協力することを学び、学級の団結を固める。

この3点を目標として、状況把握力、主体性、実行力、規律性を身に付けさせることを目指しています。

国語の授業や学級活動を通して、天智天皇、持統天皇、柿本人麻呂などの和歌に触れ、学習に取り組み、クラス対抗で札を取り合い学習の成果を確認しました。

結果は、優勝3組 2位6組 3位1組

マスク着用の上、寒いながらも窓を開けて、換気を行いながらの実施としました。

今年度も百人一首大会の保護者参観はありませんでしたが、計画的に行うことができました。ご協力ありがとうございました。



【1学年 職業講話】

1月24日(火) 1学年全生徒を対象に9企業担当者の職業講話を実施しました。

当日、生徒は前半と後半に別れ、事前を選択した2企業の講話を聞きました。

講話を通して、①働くことや自身の将来について考える。②職業についての講話を聴き、自身の将来を考えるきっかけにする。③さまざまな職種の講話を聴くことで、職業に関する知識を身に着ける。④当日の活動及び事前・事後の学習を通して「想像する力」と「やりとげる力」を向上させる。ことをねらいとしました。

野毛山動物園の担当者は、獣医師・飼育員・動物栄養管理士など、役割はそれぞれあり、勉強する過程も様々であることや、爬虫類は表情筋での表情がわからないそうですが、それでも喜んでいることは、飼育員の皆さんは理解できることなど、講話していただきました。

AGCの担当者は、理科室での簡単な実験を通して、化学薬品の開発の重要性や必要性を分かりやすく説明していただきました。ご協力いただいた企業の皆様、ありがとうございました。

◆ご協力頂いた企業の皆様◆

*野毛山動物園 *AGC(世界最大級のガラスメーカー) *銀座 三越(銀座にある百貨店) *医療法人 VERITAS うえの歯科医院 *フォトスタジオアライ(写真関連会社) *岡村建興株式会社(土木・舗装・電気通信などの各種工事、コンクリート二次製品の製造) *JEグループホールディングス株式会社(美をサポートするカウンセリングやエステの事業) *京急電鉄 *生麦保育園

【学校保健委員会】

1月30日(月)被服室にて 職員・保護者・生徒(1・2年生保健委員会)が参加して、学校保健委員会「講演会」を開催しました。

本年度は、「中学生に向けて ~食の大切さ~」の内容を鶴見小学校 栄養教諭 寺村正生先生を講師にお招きして、講演会形式で行いました。

小学校の給食を思い出しながら、中学校での現状を示しながら、食や栄養について学びを深めました。

現中学生は、塩分や脂質は取りすぎる傾向が顕著で鉄分・カルシウム・食物繊維は不足しているなど、具体的な写真やスライドを参考に分かりやすく解説して頂きました。

講演後のお話で、小学校では、給食週間を設定し、昼の放送で食材の特徴や栄養について各先生方が説明をしてことなどあるとのことでした。中学校生徒会でも参考になる話を聞かせていただきました。寺村先生ありがとうございました。

